

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科目区分	その他	授業の方法	演習
科目名	救急対応Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	501教室
担当教員	川村 智広	実務経験と その関連資格	平成19年柔道整復師免許取得 平成22年鍼灸師免許取得 平成24年日本相撲協会陸奥部屋トレーナー就任 日本陸上競技連盟A級トレーナー 平成25年柔道整復師専科教員免許取得 平成29年JSPQ公認アスレティックトレーナー			
《授業科目における学習内容》						
本講義では、救急処置の重要性や実施者の心得について学び、救急処置の基本的な留意点について理解させることをねらいとする。緊急の事故が発生した際の対応方法を学ぶことによって、適切な救急処置の手順を理解させるとともに、緊急性を判断するための的確な傷害評価の方法について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70%(筆記、実技含む) 2. レポート:20% 3. グループワーク中の態度・発表:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
AT教本 救急対応						
《授業外における学習方法》						
指定している教科書を事前に読んでおくこと。 授業内に小テストを行うことがあるため予習復習をしておくこと(不定期)						
《履修に当たっての留意点》						
応急的な処置知識やスキルを座学と実技を混ぜて学ぶ。実践に出た際に使えるものを身につけ緊急時に備えましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 授業を 通じての 到達目標	事故発生時の一連の観察(評価)、判断、処置の手順が理解できるようになる。		アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
	各コマに おける 授業予定	救急処置の重要性、救急処置の基本的留意点:第1回PP				
第2回	講義 授業を 通じての 到達目標	事故発生時の一連の観察(評価)、判断、処置の手順が理解できるようになる。		アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
	各コマに おける 授業予定	救急処置の重要性、救急処置の基本的留意点:第1回PP				
第3回	講義 授業を 通じての 到達目標	事故発生時の一連の観察(評価)、判断、処置の手順が理解できるようになる。		アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
	各コマに おける 授業予定	スポーツ現場における救急処置:第2回PP				
第4回	講義 授業を 通じての 到達目標	事故発生時の一連の観察(評価)、判断、処置の手順が理解できるようになる。		アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
	各コマに おける 授業予定	スポーツ現場における救急処置:第2回PP				
第5回	講義 授業を 通じての 到達目標	直ちに処置が必要であるような緊急を要する状態か否かを評価・判断できるできるようになる。		アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成	
	各コマに おける 授業予定	皮膚に傷のある怪我の処置:第3回PP→スキンロージャー実技				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	直ちに処置が必要であるような緊急を要する状態か否かを評価・判断できるできるようになる。	アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマに おける 授業予定	特殊な外傷の救急処置:第4回PP→対応実技		
第7回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	直ちに処置が必要であるような緊急を要する状態か否かを評価・判断できるできるようになる。	アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマに おける 授業予定	熱中症の救急処置、過換起症候群の救急処置、熱中症の分類、水分補給について		
第8回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	直ちに処置が必要であるような緊急を要する状態か否かを評価・判断できるできるようになる。	アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマに おける 授業予定	頭・頸部外傷時の救急処置法(意識障害、脳震盪の分類):第5回PP		
第9回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	直ちに処置が必要であるような緊急を要する状態か否かを評価・判断できるできるようになる。	アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマに おける 授業予定	頭・頸部外傷時の救急処置法(意識障害、脳震盪の分類):第5回PP		
第10回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	スポーツ活動によって生じた傷害の重傷度や処置の必要性を判断するための評価ができるようになる。	アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマに おける 授業予定	搬送実技実践練習		
第11回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	スポーツ活動によって生じた傷害の重傷度や処置の必要性を判断するための評価ができるようになる。	アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマに おける 授業予定	搬送実技実践練習		
第12回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	スポーツ活動によって生じた傷害の重傷度や処置の必要性を判断するための評価ができるようになる。	アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマに おける 授業予定	対策問題演習		
第13回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	スポーツ活動によって生じた傷害の重傷度や処置の必要性を判断するための評価ができるようになる。	アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマに おける 授業予定	対策問題演習		
第14回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	スポーツ活動によって生じた傷害の重傷度や処置の必要性を判断するための評価ができるようになる。	アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマに おける 授業予定	まとめ		
第15回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	スポーツ活動によって生じた傷害の重傷度や処置の必要性を判断するための評価ができるようになる。	アスレティック トレーナー専門科 目テキスト5巻 救急対応	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマに おける 授業予定	まとめ		